

## 歴史認識問題について考える

— 事実の捉え方と変化のつかみ方 —

講演要旨

木村 幹 先生

(神戸大学大学院国際協力研究科教授)

2023年10月14日 大阪 アクトスリーホール

### 回「過去」と「歴史認識」と「歴史」

歴史の問題を考えるきっかけに  
という要望をいただきましたので、  
積み重ねてきた研究の中で得た考  
え方についてお話しします。

例えば最近行われた東アジア研  
究院と日本の言論NPOの最新の  
共同世論調査によると、日本側の  
感情は良くなっているけれど、韓国  
側の感情は良くなっていないかた  
りします。そして最大の理由は歴史  
認識問題という話が出てきます。

まず歴史とは何かを考えたいと  
思います。皆さん自身の歴史も色々  
あったでしょう。自分自身に対する  
評価は、その日その日で変わら  
せんか？ 例えばコンパに行って酔  
っぱらって朝起きると、「俺はなん  
て駄目なやつなんだ」と思います。  
逆に朝起きた時から、今日はイケ  
てる気がする時もあります。「駄目  
なやつ」という時に思い出すのは過  
去の経験です。入学試験に失敗し  
たとか、彼女に振られたとか、色々  
な経験の中から、過去の事実を基  
に「駄目な自分」の理解を作るわ  
けです。逆に「行けるぞ」という

時は、成功した記憶をつなげて、  
「努力して頑張った、最後は成功し  
ている僕」という認識を作ります。

どちらも存在していて、どちら  
も間違った事実から作っているわけ  
ではない。どこをピックアップする  
かによって、「イケてる俺」と「駄  
目な私」は同時に作れるのです。つ  
まり「過去」と「歴史認識」と「歴  
史」は違うのです。過去には無限  
の材料があり、全て認識すること  
はできないので、自分の基準で選  
択して、「イケてる俺」とか「駄目  
な私」、「発展する韓国」とかいう  
説明を作るわけです。過去の事実  
があつて、何らかの基準でそれを集  
めて、一つの話やストーリーとなっ  
たのが「歴史」です。「イケてる私」  
は、最初から「イケてる」という認  
識があつて、過去の栄光を順番にピ  
ックアップしていくわけです。

過去の事実はそこに存在するだ  
けです。過去の中から特定の事実  
を何らかの基準で選ぶ。その基準  
が歴史認識です。歴史があつて歴  
史認識があるのではなく、歴史認  
識があつて歴史があるのです。選別  
する基準がないと、どの事実を入

れるか決められません。教科書はペ  
ージ数が決まっています。全部の事実は  
書けないので何を書くかを選んでい  
ます。選ぶ基準が違うと違う教科  
書ができるというメカニズムです。

その意味では、「正しい過去の事  
実」はあつても、「唯一正しい歴史」  
というものはありません。例えば、  
お父さんが考えるあなたというもの  
があるでしょう。「お前はこういう  
やつだ」という類です。大きなお世  
話だと思うでしょうが、それはそれ  
で、お父さんが知る限りの事実に  
基づいて構成されている歴史です。  
しかし自身から見ると「私」はそれ  
とは違います。でもそれもまた私の  
側から見た歴史に過ぎない。このよ  
うに、唯一正しい歴史というのは、  
理論上存在しません。ほとんどの  
人がそれを考えていないので、自分  
たちの理解する歴史、教科書で教  
わったものだけが正しい歴史だと思  
つてしまう。

では「正しい」とは何でしょう？  
韓国語・朝鮮語の「올바른」は日  
本語の「正しい」と違うイメージ  
を持っています。「올바른 역사」  
(正しい歴史) と言つても、日本人

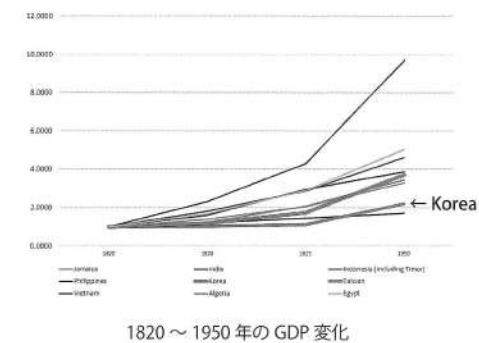
からすると、そのニュアンスはわかりません。「正しい」の基準が違っていると、歴史は違ってきます。韓国内でも保守と進歩で「善ハム」が違っているので、歴史認識が違い、違う歴史ができる。同じメカニズムが日韓の間でもあるし、個人の間、夫婦の間にも、兄弟の間にもあります。歴史認識問題を専門的に扱おうと思うと、2つのことを分けて考える必要があります。まず大事なことは、過去の事実とその事実に対する評価は別であることです。ここから、日本と韓国の歴史認識問題がなぜ激しくなったかを考えていきたいと思います。

### 回「過去」を知る評価のものさし

過去を知るための1つ目は「評価のものさし」としての他国・他地域」です。過去は変わらない。しかし歴史認識問題は、激化したりしなかつたりします。それは過去の事実だけの問題では説明できません。これは領土問題も同じです。まず過去を知る。これ自身、けっこう難しい。例えば日本の中で植民地支配を正当化しようとする人

たたちが、「日本植民地期の朝鮮半島では経済成長があった。植民地なのに経済成長しているのだから良いことをした」と言うことがありません。確かに当時の域内総生産（GDP）に近い概念は増えています。日本でも韓国でも経済史分野では統計で計算できるから当然同じ結論になる。しかし「だから日本は偉かったんだ」という事になるとは限りません。「植民地では経済成長なんかしないものだ。でも朝鮮ではしているんだ」だから違ふと彼らは言っている。でもそれは本当でしょうか？

あるヨーロッパの大学がGDPの変化を推計したデータを見てみましょう。ジャマイカ、フィリピン、ベトナム、インド、アルジェリア、インドネシア、台湾、エジプト、どれも成長していて、それに比べてコリアは大した違いはありません。というもアジア・アフリカの植民地支配地域では、ほとんど全部が経済成長していません。プランテーションを作って発展させて、そこから利益を得るわけなので当然です。植民地経済が盛り上がりたなら



1820～1950年のGDP変化

た。例えば、山本美越乃という京都大学の先生が書いている本の1節で、「植民地とは斯かる本来の国土外に於て新たに国家の領有したる土地にして、国法上之を本来の国土と同一に取扱ふことなく特別の法令に依りて統治する地方を称す」とあります。多民族国家とどこが違うのでしょうか。同じ国の中にあって違う法律的支配が行われている。ここがポイントです。違う法律的支配が行われ、より恵まれている場合は「特区」と呼びます。そうではなく、結果として住民に不利が生じる。同じ地域に住んでいて法律的に平等なら、社会的な民族差別を除外すれば普通の国民として扱われている事になりますから、多民族国家という枠になるかもしれません。同じ権利が地域ごとにならぬ。同じ連邦国家になるでしょう。それらと植民地が違ふのは、植民地の人々には主たる権利が与えられていないからです。一番分かりやすいのは参政権です。日本ではある時期から「植民地」という用語に代わり「外地」とい

う言葉が使われるようになりまし。外務省条約局の本を見ると、「外地とは内地≠日本本土 (Japan proper)」に対して、法制上異なる地域、すなわち日本の領域中憲法の定める通常の立法手続で定立される法令が原則として施行されない地域」とあります。当時の日本では帝国議会で法律を作ります。しかし朝鮮半島にはそのまま適用されません。例えば、朝鮮半島では戸籍に本貫がありません。日本統治時代からあるのが、金大さんの戸籍には、ちゃんと本貫が書いてあります。日本の法律としてはおかしくないですか？ 僕の実家の本籍は岡山ですが、戸籍に本貫が「岡山」と書かれてはいません。一方で、大日本帝国憲法下では、最初は一定の税金を納めた人、最後は25歳以上の男性全員に選挙権が与えられました。しかし朝鮮半島や台湾では、この法律は停止されています。植民地は人ではなく場所です。適用されている法律が本土と違って住民が不利になつたら、そこを植民地と呼びます。外務省の説明通り朝鮮・台湾は

ば、そこから上がる利益もないですから。

ヨーロッパの国を模範にして近代化をしました。植民地支配もイギリスやフランスやアメリカをモデルにしたので、当たり前で、結果もほとんど同じになったのです。人口についても、十九世紀のアジア・アフリカ諸国では、ほとんどの国で人口が増え続けて、朝鮮半島だけが増えなかったわけではありませ。他には「日本の植民地支配は日本政府にとって赤字だった」というものもある。しかし他の国の植民地支配も赤字です。植民地は自国の一地方のようなもので、本国より貧しいわけでは。韓国の例でいえば、地方政府はソウルの中央政府から支援金をもらっています。どの地方も同じで、投資をしないと济州道に空港を作ったり、江原道で冬期オリンピックを開催できないでしょう。植民地にインフラ整備をするにはロンドンやパリや東京からお金を送る必要があります。経済成長させて見返りを取る構造だから赤字になるのは当たり前です。朝鮮半島や日韓関係を考える時に他国と比べようとする。それは「ものさし」です。そこから確認し

### 回概念を確定する

過去の事実を知る場合に大事な2つ目は概念の確定です。日本の植民地時代を肯定的に捉えようとする人たちが、「日本統治下で台湾も朝鮮も一定の経済成長をして人口も増えている。韓国では最近日本統治時代のモダニズムを使った映画も出てきているのだから、植民地なんかではない」と言います。では植民地とは何でしょうか。他民族を支配することでしょうか。しかしカナダやオーストラリアやイギリスの植民地（コロニー）ではないですか。移民した同じ民族、同じ宗教の人たちが住んでいる。インドやベトナム、エジプトと比べるものだと思いますが、むしろ植民地の本家はこちらです。植民地には実は定義がありません。現代の定義も大事ですが、当

時の基準で植民地とは何だったのか。例えば、山本美越乃という京都大学の先生が書いている本の1節で、「植民地とは斯かる本来の国土外に於て新たに国家の領有したる土地にして、国法上之を本来の国土と同一に取扱ふことなく特別の法令に依りて統治する地方を称す」とあります。多民族国家とどこが違うのでしょうか。同じ国の中にあって違う法律的支配が行われている。ここがポイントです。違う法律的支配が行われ、より恵まれている場合は「特区」と呼びます。そうではなく、結果として住民に不利が生じる。同じ地域に住んでいて法律的に平等なら、社会的な民族差別を除外すれば普通の国民として扱われている事になりますから、多民族国家という枠になるかもしれません。同じ権利が地域ごとにならぬ。同じ連邦国家になるでしょう。それらと植民地が違ふのは、植民地の人々には主たる権利が与えられていないからです。一番分かりやすいのは参政権です。日本ではある時期から「植民地」という用語に代わり「外地」とい

う言葉が使われるようになりまし。外務省条約局の本を見ると、「外地とは内地≠日本本土 (Japan proper)」に対して、法制上異なる地域、すなわち日本の領域中憲法の定める通常の立法手続で定立される法令が原則として施行されない地域」とあります。当時の日本では帝国議会で法律を作ります。しかし朝鮮半島にはそのまま適用されません。例えば、朝鮮半島では戸籍に本貫がありません。日本統治時代からあるのが、金大さんの戸籍には、ちゃんと本貫が書いてあります。日本の法律としてはおかしくないですか？ 僕の実家の本籍は岡山ですが、戸籍に本貫が「岡山」と書かれてはいません。一方で、大日本帝国憲法下では、最初は一定の税金を納めた人、最後は25歳以上の男性全員に選挙権が与えられました。しかし朝鮮半島や台湾では、この法律は停止されています。植民地は人ではなく場所です。適用されている法律が本土と違って住民が不利になつたら、そこを植民地と呼びます。外務省の説明通り朝鮮・台湾は

「外地」≠「植民地」という理解になるのです。

### 回客観的状況を確認する

過去を知るための3つ目は、客観的状況の確認です。韓国から来た人が日本史を学ぶ時に面喰らうのが、日本人が戦前の日本を割と良い社会だと思っていることです。経済発展もした、一定の範囲で民主主義もあつた、1930年代からファシズム化した後の日本は駄目だが、大正デモクラシー期の日本は良かったという認識です。韓国で教わる、あるいは朝鮮学校で勉強する朝鮮半島の状況と全く違います。同じ日本の領土なのになぜなのか。結論から言うと法律が違ふからです。「朝鮮總督府官制」（1910年の勅令）に書かれている表現で、「總督ハ天皇ニ直隸シ」とあります。また「朝鮮ニ於テハ法律ヲ要スル事項ハ朝鮮總督ノ命令ヲ以テ之ヲ規定スルコトヲ得」とあつて、つまり「朝鮮總督は自分で法律を作れます」と言っているのです。戦前の天皇は絶対的主権者で全部の権

利を持っていて。朝鮮半島では朝鮮総督が天皇の代理人で、立法、行政、司法、そして軍隊の指揮権も持っているから何でもできてしまう。この状態は本土のシステムとは全く違います。戦前の日本では天皇は権限を持っていても飾り物にされて、その下に内閣、帝国議会、軍隊、裁判所があっても、それぞれがばらばらで動いていました。これを何とかまとめるのが元老で、伊藤博文とか山縣有朋がアドバイスする形でした。

一方、朝鮮総督は天皇と直結していて、内閣総理大臣に任命されるわけではありません。帝国議会が作った法律の中から、朝鮮総督が「これはよい」と考えたものを適用する。戸籍などは、朝鮮では本貫が入るから同じ法律が適用できないので、民法も別に作ろう、という話です。法律を朝鮮総督が作っているのが全然政治が違う。だから日本人とコリアンの人が考える戦前に理解もできない。

せん。朝鮮半島より台湾のほうが植民地支配初期に大きな抵抗が行われて戦争状態になりました。台湾で抵抗して死んだ人の全人口に對する割合は朝鮮半島の5倍ぐらいで、1894〜95年だけで1万7千人が死んだと言われています。また、1898年から2年間に1万1950人が処刑された記録も残っています。当時台湾の人口が約300万人なので1万人でも約0.3%です。分かりにくいかもしれませんが、2011年の大震災のとき東北3県で死亡した人の割合が約0.3%でした。台湾全土ではそれ以上の人が死んでいます。戦争状態だったから普通の政治を行うことができず、台湾総督に全権を与えたのが元々の経緯です。それが既得権化して植民地化するわけです。

### 「当時の人々」はどう考えたか

過去を知るため大事な4つ目は、当時の人はどう考えたかです。これは過去の事実がどうであったかとは全く別の問題です。当時実際に生きた人と我々の一番大きな違い

が急に悪くなったからか。朝鮮王朝の大韓帝国時代に参政権などありません。法律による支配が行われていたとも、経済状態が良かったとも思えない。一般の農民は字も読めないのに、なぜ反対したのか。9年間に何があって、何が不満だったのか。外国統治支配、そんな抽象的なことのために貧しい人たちが立ち上がるのでしょうか。三・一運動では立ち上がった。理由があるはずだ。

民衆にとっても、エリートにとっても、外国人の支配も地主や昔ながらの在地両班の支配とそんなに変わらないようにも思えます。でも彼らは不満だった。なぜ怒ったかを知ることが重要で、それが当時の人々の認識を知ることです。今の人々の認識とは当然違います。

### 二・八独立宣言と留学生

この史料は二・八独立宣言です。東京で行われた学生の運動で、三・一運動の前に先手を取ったのは東京の留学生たちでした。留学生は当時の貧しい朝鮮半島から日本に留学して大学生をしていた人たちです。金性洙や宋鎮禹の自

伝を調べると、実は彼らは中学校から日本に留学しています。日本の大学入学資格を得られる学校が、朝鮮半島になかったからです。日本語を学び、5年制の中等学校に入ってから日本人の学生と同じ試験を受けて大学に入るのでした。

つまり併合の前から日本にいるわけです。スパーエリートで、何よりスパーお金持ちではないですが、全羅北道から来ている人がいたら、高敵に行けば金性洙の生家がありますよね。しかし何か不満があつて独立運動宣言や三・一運動の時に一生懸命協力するわけです。そ

は何でしょう。それは僕らはその後に起きた事を知っているけれど、昔の人はそれを知らない、という事です。当時の人たちは解放されてからワツと独立運動をしました。しかし1943〜45年は比較的静かでした。その時、日本は軍隊を外に出して本当は力がない。しかし大きな抵抗運動はそのタイミングで起こらなかった。なぜか。それは日本が戦争に負けたとわかっていなかったからです。ずっと日本の支配が続くと思っていた。親日派の問題でも、僕らはその後を知っているから、なぜ協力したのだろうと思えます。例えば当時の大学生は1925年頃の生まれでしょうから、日本植民地時代しか知らない。それを前提に生活計画を立てます。であれば、例えば軍隊に入った方が得だと思わないでしょうか。「天皇陛下万歳」って叫んでいたら就職があるかと思いませんか。

韓国現代史でも、87年に民主化されることは、84年当時の人たち、金大中氏も金泳三氏も知りません。それと同じです。

当時の人々がどう考えたかは、客観条件とは別です。それを僕らがジャッジしても意味がない。彼らが「考えたこと」はそれ自体も事実です。当時の人たちにとって、イギリスがこうだとか、インドの状態よりましとか、そんなことはどうでもよいことです。彼らが何かしらの不満を持ったなら、それには何らかの理由がある筈です。

色々と思議なことがあって、戦争末期、あんなにたくさんの人たちが朝鮮半島から連れて行かれたのに、どうして抵抗できなかったのか。考えてみたら、緒戦は日本が勝っていた。その状態で反対するのは難しい。なぜ三・一運動は1919年なのか。植民地支配が始まったのは1910年です。植民地支配そのものに反対なら、その時から激しい抵抗運動をするのが当たり前になります。そもそも、なぜ植民地支配が嫌だったのか。外国人に支配されるからか、政治



二・八独立宣言書

の後、日本に協力するのでややこしい問題になるけれども、そんな金持ちが何が不満だったのでしょうか。貧しい人たちの不満とは絶対に違うと思いませんか。

今の東京大学、明治大学、早稲田大学、関西だと京都大学、当時の留学生たちの記録を調べると、彼らは卒業する時期に掛かっている、不満を持つ最大の理由は就職がないことでした。公務員になれない、司法試験を受けられない。社会的上昇の機会がない。国があつた時には、科擧に受かったり、様々な方法で出世できたわけです。李完用は総理大臣にまでなりましたが、彼らはなれないのです。

植民地支配とはそういうことなのか。建前では日本人は朝鮮人を対等に扱ってくれることになっている。だから東京大学や早稲田大学で日本人と互角に戦っている。すごいですよね。でも就職はない。この世界では出世できない。だから別の国を作るのだ、と。東京で、一番日本人化したお金持ちの人たちが最初に独立運動を起こす。一番日本人化した彼らを、日本人がそ

れでも受け入れないことを知ったからです。

### 回農村で起こっていたこと

では農村ではいったい何が起こっていたか。朝鮮総督府も三・一運動が起こった後、なぜみんな不満なのか調査して報告書を作っています。日本人の差別、態度なども出てきますが、一番大きいのは、想像もできないと思いますが、お墓です。日本人が作った法律が適用されて、色々と制度が変わってくる。そのうちのひとつがお墓でした。朝鮮半島の墓はこんな感じですよ。



朝鮮半島の墓地

南斜面に一人一人大きい墳墓を作  
つて、旧正月と秋夕の時に祭祀を  
する。最近では韓国も随分変わっ  
てきました。在日コリアンの人は祭  
祀のためにおじいちゃんの出生地  
行ったりします。そういうものが墓  
だと思つていて。でも日本人からす  
ると、こんなに土地の面積を取るも  
のは無駄なのです。土葬も「なん  
て遅れた風習だ、伝染病がはびこ  
る」。理屈は合っています。「ここ  
に桑やみかんを植えたら儲かるでは  
ないか。そうしないから朝鮮人は経  
済成長しないんだ」と言つて、こう  
なるわけですね。



日本式の墓地

る程度決まらなう、それをどう考  
か。1919年はマイナス0.18  
%ですが、そこから後はプラス成長  
になっている。しかし労働者の賃金  
は、朝鮮半島に住んでいる日本人  
と朝鮮人でギャップがありまし  
た。あるいはエンゲル係数(家計支  
出に占める食費の割合)は改善は  
されているが54%。収入の半分以  
上が食費で生活に余裕がない。数  
字は数字です。「良くなつては  
う、それはしんどい生活だ」と言  
う人もいます。ファクトは一つで  
も、どう考えるかは別の話です。  
比較の対象をどこにするか。日本  
人との賃金格差が、内地と経済が  
違うことか、根本的に貧困がなく  
なつていないことが重要か、経済格  
差があることなのか、様々な視点  
があると思います。

語に直して出版され、日本語版は  
僕の研究室で翻訳しました。韓国  
の研究者とお互いに内容を精査し  
て、このケースでは慰安所とはこ  
んな感じだったのだなという話にな  
りました。元慰安婦の人たちの証言  
も、かなりインタビューを取りまし  
た。90歳ぐらいのハルモニの話で  
から、内容には当然間違っている  
ところもあるわけですね。それは当  
前で、90歳のおばあさんが「私は  
1943年5月12日に」などと  
完璧に覚えていたら寧ろ異常で  
す。あり得ません。その信憑性を  
確認する方法もあります。

開かれていなかった。ハルモニたち  
は軍隊の秘密事項を知っているわ  
けではないし、それが全部当てはま  
れば、絶対そこにいたことになりま  
す。

次にそのように検証された事実  
は前提として、例えば「性奴隷」  
「comfort」の定義は何か、という  
ような議論もあります。日本語と  
韓国語と英語の語感も違います  
し、研究の世界と新聞で使われる  
意味はおそらく違います。「植民地」  
と同じで用語を定義しないと、あ  
る人たちは「性奴隷じゃない」と  
言い、他の人たちは違う基準で「性  
奴隷だ」という話になります。

①歴史認識の違いが認識される  
(事実の発見)  
②何らかの理由により、歴史認識  
の違いが重要であると見做され

開かれた歴史認識問題の話を戻  
つて、歴史教科書問題を考えてい  
ます。第2期日韓歴史共同研究  
(2007年)の歴史教科書問題  
担当委員は僕でした。両国の教科  
書が違うのはよくご存じだと思  
います。議論してすぐ分かるのは、日  
本も韓国も歴史教科書は歴史研究  
の専門家の成果のもとに書かれて  
るわけで、どこかの作家が適当に書  
いてるわけではない。僕は韓国語も  
英語も読めますし、韓国の研究者  
には、僕の韓国語よりうまい日本  
語を話す人もたくさんいます。お  
互いに留学していて、昔から研究者  
仲間が友達です。そういう交流も  
あり、お互いの論文も読んでる。

許せないではないですか。葬式を  
しようと思つたら、いきなりハラボ  
ジを燃やしてくださいます。葬式に  
もうこの時点でハラボジです。葬式に  
出ると骨を拾つて陶器の壺に入れ  
て、「おじいちゃんです」と渡され  
ます。それを朝鮮半島の人は「は  
い」ともらえないでしょう。墓石の  
下に骨壺を入れてそれで終わり  
日本人にとっては当たり前の習慣  
です。しかし朝鮮半島の文化であ  
る儒教で重要な先祖崇拝を真正面  
から否定しています。これを順番に  
村々でやると、「なんてこった」と  
いう話になるのです。遺体を焼いて  
あんな墓に入られる。日本を絶  
対に許せない、という話が村々の間  
き取り調査で出てくる。

これが植民地支配なのです。生  
活習慣を変えさせられる。学校制  
度の差や土地調査事業で土地を取  
られるというレベルではありませ  
ん。日本人はこの重要性が全く分  
かっておらず、良かれと思つてや  
つておられる。やればやるほど反  
発は強くなる。その反発が朝鮮半島全体に  
行き渡るまで9年ほどかかったの  
です。エリートは「俺たちは出世でき

ない」、貧しい人たちは「おじい  
ちゃんもおばあちゃんも、みんな燃  
やされてしまった」となった。

事実とは過去に何が起つたか  
だけではない、それがどのように考  
えられたか、なぜ起つたのか、測  
る基準はどうだったのか、他国と違  
つたのか、システムはどうだったの  
か、など実に多様です。そしてそれ  
を一つ一つ見ていくと当時の人た  
ちが怒つた理由も分かります。

③問題解決のためには、政治的動  
機が重要であると認識される(政  
治的役割の発見)  
④問題の政治的重要性が、それを  
提起する事により損なわれる利  
益をも上回ると認識される(相  
対的重要性の発見)

「私は中国のとある小さな町で慰安  
婦をしていました」と証言がある  
とします。これを確定するのは簡単  
です。慰安所があったというこ  
とは、日本軍がいたということ  
です。「43年2月には長春にいまし  
た。その後上海に移動しました」と  
言つたとき、だいたいの人は部隊に  
付いて行くから、証言と同じ移動  
をしている部隊があったらピンゴ  
です。軍の作戦ですから、当時は公

とを本当に知らなかったのでしょうか。そんなわけはないでしょう。当時、金鍾泌や朴正熙はどこにいたのですか。多数の韓国人が日本人と一緒に軍隊に行っていたので、慰安婦の人たちがいたら見ていたはず。知らないわけがありません。しかし60〜70年代の当時は、それが重要なことだと思わなかった。元慰安婦のハルモニたちは、実はみんな知っていた。1965年頃には慰安婦は映画にすら出てきます。韓日・日韓の基本条約を結んだ年です。あの年に慰安婦が出てくる映画があって、誰も問題にしない。あの段階から運動が起って今は大きな問題になったわけです。

教科書の問題も同じです。日本の教科書は右傾化していると思っただったので、韓国は1948年から2007年まで、日本は1945年から2007年までの、高校の

教科書を読みました。大変な経験でしたけれどね。僕は80年代に高校に通ったので、1982年の日本の教科書を読んだとき、「ああ、これで勉強したな」と思いました。植民地支配についてどれくらい書いてあるかと思いませんか。1910年の韓国併合は流石に書いてあります。朝鮮半島に関する話はその後、1回だけページの端にこう出てくるのです。「第一次世界大戦が終わった後、世界ではアメリカ大統領のウィルソンによる平和のための14カ条宣言などもあり、アジアで民族運動が活発化した。その民族運動の中には中国の五・四運動や韓国の三・一萬歳運動などがある。これで植民地支配に関する記述は全てです。」

歴史教科書問題が最初に激化したのは1982年で、翌年から使われる教科書の検定に関するものでした。昔の日本の教科書には、植民地支配の問題は何も書いてありません。なぜかというところ、日本の教科書に朝鮮半島に対する反省が書かれていないことを、普通の

教科書を読みました。大変な経験でしたけれどね。僕は80年代に高校に通ったので、1982年の日本の教科書を読んだとき、「ああ、これで勉強したな」と思いました。植民地支配についてどれくらい書いてあるかと思いませんか。1910年の韓国併合は流石に書いてあります。朝鮮半島に関する話はその後、1回だけページの端にこう出てくるのです。「第一次世界大戦が終わった後、世界ではアメリカ大統領のウィルソンによる平和のための14カ条宣言などもあり、アジアで民族運動が活発化した。その民族運動の中には中国の五・四運動や韓国の三・一萬歳運動などがある。これで植民地支配に関する記述は全てです。」

歴史教科書問題が最初に激化したのは1982年で、翌年から使われる教科書の検定に関するものでした。昔の日本の教科書には、植民地支配の問題は何も書いてありません。なぜかというところ、日本の教科書に朝鮮半島に対する反省が書かれていないことを、普通の

ミの力を使って「日本に勝つためには日本を知らないといけない」という標語を作ってキャンペーンを張ったのです。

貿易額の変化が示す現実

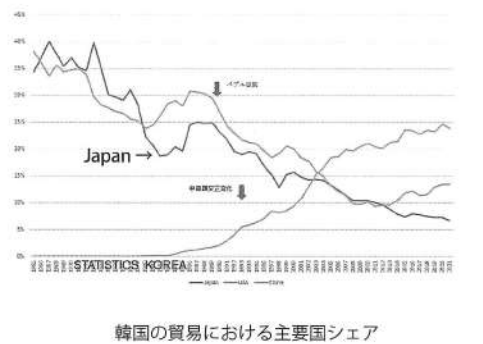
日本と韓国の間で人や物の交流が増えているから、日韓関係の未来は明るいという言説があります。しかし韓国から来ている人の感覚はどうですか？ 日本の重要性はずいぶん下がっているでしょう。このグラフは韓国の貿易輸出に占める主要国シェアです。日本のシェアは真つ逆さまに下がっています。数字で見ると日本の影響力がだんだん減っているのが分かります。なみにアメリカも並行して下がっています。アメリカと同じになるわけがありません。80年代の日本経済は一番強かった時代です。それと関係なく下がっているのは、日本側に主たる

それでも受け取ってくれた。その時に楽しくワインを飲んだかもしれない。それは渡したペンダントやあなたからのフアッションセンスが良かったからではなくて、あなたに価値があったからです。彼女はその時も「何これ？」と思ったかもしれない。だけどあなたを愛しているから、「こんなことで言うのはおかしいわ、私が悪いのね」と思ったに違いない。男女が逆でもよいですが、僕は男性なので怒られる立場で話を進めています。

物は変わらない、過去は変わらない、ルールも変わらない。しかし問題になる時とならない時があるわけ。問題にならない時の最大の理由は、その関係が重要だからです。要するに韓国側も日本側もお互いの関係が重要だと思えば、歴史認識問題で議論するのはやめようと思います。韓国では80年代に「克日運動」というのがありました。当時、韓国の政府と財界と「朝鮮日報」が仕掛けたのです。理由は簡単で、教科書問題が激化して日韓関係が悪化すると韓国の財界が困るので、政府とマスコ

韓国人は知らなかったからです。そんなことはないと思いませんか？ 朴正熙さんや金大中さんや金泳三さんは日本統治期の教育を受けました。彼らは日本の教科書がどんな雰囲気、戦前と戦後の違いはともかく、どう書かれていたかは知っていました。そもそも彼らは日本語が読めるわけですから、朴正熙が「戦後になったから日本の教科書は植民地支配に対する謝罪の言葉であふれているだろう」と思うわけがありません。

つまり、「日本人はああいう人だから、そんなもの書いているわけがない」と、みんな諦めていた。でも、80年代には世代が変わって、「問題だ」という話になった。教科書は変わらないけれど、問題が起きている。元慰安婦のハルモニたちは昔からいなければならないけれど、重要だと皆思うようになった。これが認識の変化です。重要であることが発見されて、韓国や日本の教科書が変わる。すると、日韓共通の歴史事実について認識の違いが発見される。専門家は知っている。現場で実体験した人も当然知っている。しかし誰もそれ



要因がないからです。要因の一つは韓国が経済成長しているからです。81年から2021年まで、韓国が日本の経済成長率を下回ったのは、98年のIMF危機の1年間だけです。もう一つは、皆さんの世代だと既に感覚的に分かなくなっているでしょうが、昔の韓国は冷戦下にあつた。僕が最初に行った1987年の韓国は、中国ともロシアとも国交がありませんでした。82年まで統計上中国との貿易はゼロでした。しかし冷戦が終わると、韓国では古いお友達である日本とアメリカの重要性が下がります。しかし日本は1956年にソ連と、72年に中国と国交正常化しているのです。冷戦体制が崩壊して影響は小さかった。もう一つはグローバル化です。世界に国境がなくなつて隣国と仲良くなることだ、と思つて色々な国と交流ができる。「グローブ、つまり『地球』化」です。遠い国、ロシアやブラジルや南アメリカとも簡単に交流ができるようになる。すると昔から関係が深いアメリカ、あるいは隣国日本のアドバンテージがなくなり、重要性は下がります。ヨーロッパでも、ドイツにとつてフランスの重要性、イギリスにとつてEUの重要性が下がっている。韓国ではこれに冷戦下の分断国家という要素が加わっているので、極端な数字として表れている。歴史認識ではなく国際関係認識ですが、日本の人には理解されていないところ。韓国にとつて日本の重要性はどんどん下がつていって、一時期は「次は中国だ」となつて、最近「中国もちょっと違うか

